

mRNA COVID-19 ワクチンは実は「遺伝子治療法」、ワクチンではない

メディアとビッグ・ファーマはプロパガンダ戦争の一部、
間違った主張で一般の混乱を招く

February 4, 2021

LifeSiteNews



By David McLoone

主流メディア報道と医薬品会社の主張に真っ向から反対して、ビジネス倫理家で、バージニア大学医学スクール元教授 **Dr. David Martin, Ph.D** は、あるインタビューで、「mRNA はワクチンではない。それは、もともと癌治療から発生した遺伝子治療法だ」と言った。それに加え、マーチンは、COVID-19 の PCR テストをめぐる宣伝する、メディアの虚偽が演じている役割について語った。

マーチンは、「プロパガンダ戦争」の一部として、広範な言葉（用語）の混同が、メディアや、ジョンズ・ホプキンス大学のような研究機関によって拡散されたという。マーチンによれば、世界保健機関（WHO）は、正確に、SARS-CoV-2 をウイルスとして、COVID-19 を 1 セット

の病状として区別したが、メディアの作り出した、虚偽の「因果の繋がり」から混乱が起こり、SARS-CoV-2 が COVID-19 を作り出したことになってしまった。

マーチンの主張では、「RT-PCR をテストにを使って、SARS-CoV-2 と関連するものの断片を見つけようとして、陽性と判定される人々の大多数は、全く病気でない」のだから、「ウイルスが1つの病気を起こすという錯覚は、崩壊している。」彼はまた、例えば「5,000 の新しい症例」が報告された場合、「その数千人が、PCR テストで陽性かもしれないが、ほとんどの陽性の人々が、単一の症状を持つということはない。症状（複数）をもつほとんどの人々は、陽性ではない」と言った。

マーチン——バージニア大学の Darden 経営学スクールの Batten Fellow——は、彼の主張を支持するものとして、2020 年 2 月の WHO の発言を引用した：——「これら 2 つのものの混同があってはならない。1 つは、その定義におけるウイルス、もう 1 つは、臨床症状の 1 つのセットである。」

更に説明するために、マーチンは、「COVID-19 は 1 つの病気ではない。それは一連の臨床症状だ。それは、インフルエンザや他の発熱性の病気と結びついたものを連想させる、1 つの巨大な傘だ」と言った。そこには筋肉痛や、体の痛み、発熱などが含まれる。

PCR テストの信頼性と、SARS-CoV-2 と COVID-19 の混同の問題を確かめた後で、マーチンは、なぜ、mRNA ワクチンが間違っってワクチンと呼ばれているのか、そしてそれらが、より多く遺伝子治療法に似ていることについて、彼の考えを説明している。

マーチンによれば、ワクチン接種は、典型的に、「薄めた、または生きたウイルス、またはその断片を使う治療」と理解されていて、それは「あなたを感染から守ることを意図するもの、また感染したものを人に移さないようにする」ものである。

「問題は、Moderna や Pfizer の場合、それはワクチンではないことである。それは遺伝子治療なのだ」と彼は続ける。モデルナやファイザーの製品は「合成 RNA のひもの 1 本を人間の内部に送り、人間の中で、病原体である S1 spike protein ができるように誘発しようとする。

「これは、あなたが病気にならないようにしないだけでなく、あなたの身体に、あなたを病気にするものを作り出させようする」と、マーチンはつけ加えた。

インタビューをした私は、この説明——注射が人の身体に、人を病気にする効果を作り出す——は、何か、ワクチンの効果に似ているような気がする、と、正直に言った。

しかしマーチンはそれに反対し、それは全くワクチンに似たものでない、なぜなら、「ワクチンは免疫を作り出させものと考えられている。しかしこれは、あなたに毒を作り出させるものと考えられている。」

「どこか違うということではない。全く別物なのだ」と、マーチンは説明した。「それは、あなたの身体が毒物を作るように仕組まれる手段で、次に、あなたの身体は少し、それに慣れてくると言われるが、免疫反応を起こすワクチンとは違って、これは毒物を作り出す働きをする。」

ワクチン接種と思われているものの背景にある製薬会社を攻撃して、マーチンは、この人たちは臨床試験の方法をうまく使って、彼らの「ワクチン」を、開発から製造まで一気にやってのけたのだと言った。

「彼ら製薬会社は、自分たちは、ウィルスが存在しているか、いないかを、テストすることはできない。また伝染性をテストすることもできない。なぜなら、それは実践できないからだと言った。会社自身は、私が言っているあらゆることを、1 つずつやっていると認めた。しかし彼らは、大衆操作を利用して、ワクチンという言葉信じさせ、大衆が手にしていないものを、手にしていると思わせているのだ。」

マーチンはこれに対し、mRNA 注射は「コロナウィルスにかかるのを防ぐものではない。それは病気になるのを防止するものではない。実はそれは反対で、ウィルス自体よりも、もっとあなたを病気にする可能性があるものだ」と、警告した。

マーチンは自分の主張を確認するデータを提出し、彼らは2つ目の注射を受けた後、「80 パーセントの人々が、一度かそれ以上の COVID-19 の診療体験をしているのに、80 パーセントの RT-PCR による感染をもつ人々は、全く症状をもっていない」ことを示した。

この数字が何を意味するかを説明して、彼は、人々は「COVID-19 の症状を、ワクチンとしてつかまされる遺伝子治療から貰っているのだろう。あなたは COVID の症状をあの 80 パーセントの時間から受けるだろう。もしあなたが、RT-PCR に応じて（陽性 PCR テスト）SARS-CoV-2 に曝されるなら、80 パーセントの時間の間、あなたは全くどんな症状も持たないだろう」と言った。

臨床実験から出てくる主張を、より詳細に観察しながら、マーチンは、会社たちが mRNA 「遺伝子治療テクノロジー」を開発するときの、誠実さを問題にした。

「一人の人間が、可能性として、短時間・長時間にわたって、自分の RNA や DNA を、この遺伝子治療に曝すことによって、変化させるリスクに曝そうとしている」と、マーチンは警告した。モデルナの臨床実験に参加した 4 万人のうち、「ほんの数百人だけに——他の比較グル

ープに比べて——あまり厳しくない遺伝子治療の症状が、数日間、起っている」ことに、マーチンは気づいた。

これでさえ、製薬会社が、「現実の COVID 症候から、有害な出来事を引き離している」ので、信頼できない情報だと、マーチンは言った。このことから、これらの会社は、「多くの COVID 症候と考えられたであろうものを、有害な出来事と呼んで」分類をやり直し、「この馬鹿々々しい 90 パーセントのプラス効果」が出てきたことがわかる。

「その結果として、我々は共に方法問題をもつことになるが、それは多数の臨床科学者に批判されてきたものだ。より大きな問題は、彼らがいまだに、ウィルスの感染しやすさと、ウィルスの伝染を、正しく判断できないことだ。これは椅子の 2 本の脚のようなもので、彼らは公衆衛生のために、民衆をワクチン接種しているのだと言うためには、これが必要条件である。」

マーチンは「これ（遺伝子治療）は prophylactic（予防薬）ではない、これは我々を助けるものではない。我々は、自分もたない、そしてほとんど確実に将来も持つことのない病気の、治療薬を接種するように言われているのだ」と言っている。

この状況の馬鹿々々しさを説明するために、マーチンはそれを、政府が保健命令として「あらゆる人々が、罹るかもしれない癌のために、化学療法が必要だ…」と言っているようなもの、まさにそういうことが起こっている、と言っている。

「しかも我々は、注意深い市場操作とプロパガンダが必要で、これは公衆衛生のためのワクチンだ、と言われている」と、マーチンは警告し、「mRNA は遺伝子治療で、それは、もともと癌治療のために開発されたもので、ワクチン接種しているのではない」と重ねて言う。

PCR テストに注意を戻して、マーチンは「PCR は診断法として承認されていない、それは診断するものではない。PCR テストには、プロパガンダを強化すること以外に、取るべきものは何もない」と嘆く。

マーチンまた、病院は彼の見解では、患者をインフルエンザでテストしていないと指摘した。なぜなら、政府は「事実を認めたくないからだ。それは、入院している、病気の、死につつある大多数の人々は、毎年起こっているのと全く同じ体験をしているとい事実で、それはインフルエンザのような、フルーのような、肺炎のような病気なのだ。」

マーチンは結論として、「我々が PCR テストを利用する理由は、知事や米保健福祉省が緊急事態を維持しているからだ。この緊急事態が、どんな州でも国家でも解除された瞬間に、PCR テストは利用できなくなるだろう」と言った。

「モデルナやファイザーが使っている遺伝子治療法——それらは2つとも、緊急事態が解除されれば、直ちに停止されるだろう。」

COVID-19 ワクチン接種プログラム全体が、茶番であることを示そうとして、マーチンは、「緊急事態を解除すれば、カードの家全体が倒れるだろう」と説明した。

[Greatchain 訳注]

これは 4 月 14 日掲載の翻訳論文 <http://www.dcsociety.org/2012/info2012/210413.pdf> の 2 番目の埋め込み論文の翻訳である。翻訳上の不備があればご容赦願いたい。

これだけでなく他の専門家からも、一般にコロナウィルスの「ワクチン」と言われているものは、いわゆる「ワクチン」でなく、遺伝子治療 gene therapy の試みを、ワクチンに見せかけたものだという主張がなされている。もしそれが正しいなら、公開の場でそれを認めるべきではないのか？ もし間違っているのなら、それを唱える専門家たちを告訴すべきであろう。どちらにしても、人の命がかかっているからである。PCR テストにしても、その陽性・陰性で、病気の真実がわかるものではないと言われている。これについても同様である。説明して納得させた上なら（いわゆるインフォームド・コンセント）、仮に瓶の中身が別の薬品であっても構わないであろう。しかし、そういうことがなされているとは思えない。